



自然素材の普及に注力

住む人が健康になる家を

1993年創業。自然素材を使った「健康住宅」を手掛ける(有)ラムハウジングの川上晃奈さん(35)。福祉住環境コーディネーターの資格も有し、「誰もが安心して健やかに暮らせる住まいを提供したい」と熱く語る。

「建築の仕事に携わるようになったきっかけは？」

もともとファッションに興味があり、アパレルの会社で店長を任されていた。しかし、出産で退職し、仕事復帰を考えたら、代表である父に声を掛けられたんです。入社後、代表と一緒に現場へ行くと、私だけ置いていかれました。「見て学べ」が代表の

教えだったんです。家が建つ工程や職人の技術、施主の喜ぶ顔を見るうちに、建築の仕事がすごく楽しくなりました。

一方、男社会の業界で何度も悔しい思いをしました。自身の信頼と自信を得るため、猛勉強して2級建築士、福祉住環境コーディネーター、福祉用具専門相談員などさまざまな資格を取りました。

「仕事で心掛けていることは？」

当社は現場第一主義。住む人が健康になる、自然素材の家を目指しています。シックハウス症候群で体調不良にずっと悩んでいた人が「健康住宅」に建て替えたら、すっかり元気になる人生が変わったと喜ばれることもありました。

私たちは施主やそのご家族の人生に関わる仕事をさせてもらっている。常に誠心誠意取り組み、自信を持って引き渡しができるようにしたい。そのためにも現場には毎日通い、確認しています。

「今後の目標は？」

将来は当社の「健康住宅」で保育園を建てるのが夢。アレルギー、アトピー、ぜんそくといった疾患のある子どもが多い中、子どもたちが長時間を過ごす保育園が健康住宅だったらどんなにいいだろう。夢はかなえるもの。きつと実現したいと思っています。

取材／赤嶺初美(ライター)

川上晃奈さん

(有)ラムハウジング 2級建築士、福祉住環境コーディネーター2級



かわかみ・あきな 1983年生まれ。北谷町出身。アパレル業界を経て、2007年、父・川上優氏が代表を務める(有)ラムハウジングに入社。2級建築士、建築施工管理技士2級、福祉用具専門相談員、福祉住環境コーディネーター2級の資格を取得。1男1女の母。趣味はヨガ。
◆(有)ラムハウジング 北谷町宮城1-465
☎098・936・8808

CSR研究会全国大会

10月27日に沖縄で開催



昨年行われたCSR研究会全国大会の様子
CSR研究会提供

福祉住環境を整備するケアリフォームは、車いす利用者にとって在宅生活の自立促進や介護負担軽減につながる。そんな全国の事例に学ぼうと毎年開催されている「CSR研究会全国大会」が10月27日、那覇市のタイムスビル3Fで開かれる。

プログラムは金城知子氏による講演会の他、最新の福祉機器の展示、体験もある。大会実行委員長を務める川上さんは、「医療・福祉関係者や事業所向けではあるが、一般の参加もOK。ケアリフォームに興味関心がある人はぜひ参加を」と呼びかける。定員200人。参加費無料。事前に申し込みが必要。問い合わせはラムハウジング(電話=098・936・8808)